

令和7年度 第2回 三浦市緑の審議会議事録

1 日 時 令和7年11月7日（金） 10時00分～11時40分

2 場 所 チェルS e aみうら2階多目的ホールB

3 議 題

- (1) 三浦市みどりの基本計画（素案）及び概要版について
- (2) その他

4 出席者

- (1) 委員 中津会長、小林委員、布施委員、山本委員、西崎委員、
大西委員、新井委員、長沼委員、小森委員
- (2) 事務局 堀越都市環境部長、石塚環境課長、道野環境G L、佐野主任
- (3) 傍聴人 0名

5 関係資料

- (1) 資料1 令和7年度第1回三浦市緑の審議会ご意見の対応について
- (2) 資料2 三浦市みどりの基本計画（素案）
- (3) 資料3 三浦市みどりの基本計画概要版（素案）
- (4) 資料4 藻場調査・干潟調査の概要
- (5) 資料5 三浦市みどりの基本計画策定スケジュール
- (6) 資料6 三浦市緑の審議会ご意見シート

6 議事

- ・ 定刻に至り、司会（道野環境GL）が開会を宣言した。
- ・ 堀越都市環境部長からの開会挨拶後、議事進行については、当審議会会長である中津会長に一任した。

議題（1）三浦市みどりの基本計画（素案）及び概要版について

【中津会長】

それでは早速ですが、議題に入りたいと思います。議題（1）について事務局より説明をお願いします

【事務局】

それでは、本日の議題である三浦市みどりの基本計画（素案）及び概要版（素案）についてご説明申し上げます。

資料2 基本計画（素案）のうち1ページから49ページまで、序章、第1章、第2章については、7月に開催させていただいた第1回審議会の中で皆様からご意見をいただいております。頂戴したご意見に基づいて修正させていただいた箇所のうち、主な部分についてご説明いたします。

はじめに序章になります。2ページをご覧ください。計画の位置づけになります。

令和6年に都市緑地法が改正され、国の基本方針が示されています。その中で、「環境への負荷が小さいカーボンニュートラル都市」、「人と自然が共生するネイチャーポジティブを実現した都市」、「Well-beingが実感できる水と緑豊かな都市」という3つの個別目標が掲げられており、本計画の位置づけの中で、これらの記載を加えています。

次に5ページをご覧ください。審議会の中でいただいたご意見から、三浦市にある公園の種類をみどりのコラムとして追加しています。

次に第1章みどりの基本構想です。11ページをご覧ください。第1回の審議会の際には検討中とさせていただいておりましたが、今回、緑地の目標水準を設定しております。目標量は現存の緑地量を算定し、それに中間年次、目標年次までに整備予定のものを積み上げて作成しています。結果、市街化区域面積に対する緑地の割合は現状維持のおおむね19%、都市計画区域面積に対する割合は現状から1%程度の増加を見込み、おおむね62%としています。また、「② 都市公園等の施設として整備すべき緑地の目標水準」については、人口減少に伴い、一人あたりの緑地面積は増加する見込みとなっています。

14、15ページをご覧ください。特に重点緑化道路について精査し、修正を行っています。重点緑化道路としては、景観重要公共施設として指定された道路、遊歩道である関東ふれあいの道、都市計画道路西海岸線のうち自然林の再生事業地として計画されている小網代藤ヶ崎周辺、三浦市花とみどりモデル事業の対象地としています。この中で、三崎口駅から三浦

海岸駅にかけての道路全体が重点緑化道路として緑色の破線となっていませんが、この部分は緑化ボランティア団体さんも多く活動している箇所になります。そのため、パブリックコメントまでに道路全体を緑色の破線で記載させていただく方向で検討しております。また、県立城ヶ島公園の緑色の楕円についても、「県立城ヶ島公園」という表記について、城ヶ島南側の地域全体を示す言葉に修正する方向で現在、検討しております。

次に 27 ページからになりますが、第 2 章みどりづくりの施策です。個別施策の内容について、第 1 回審議会でのご意見を反映させるとともに、庁内や神奈川県等関係機関と調整し、修正をしておりますが、全体の構成、内容に関して大幅な変更は行っておりません。

ここまでの、前回、令和 7 年度第 1 回の審議会においてご確認をいただいた内容になります。

次に 50 ページからの「第 3 章みどりづくりを重点的に進める地区の方針」について説明させていただきます。

50、51 ページをご覧ください。14、15 ページみどりの将来構造を踏まえて、A から Q まで 17 地区について、みどりづくりを重点的に進める地区として設定しています。区分といたしましては、重点的にみどりの保全に取り組む地区として、近郊緑地特別保全地区、保全配慮地区、保全・交流地区を、重点的に緑化推進に取り組む地区として緑化重点地区を、重点的に緑化に取り組む道路として重点緑化道路を設定しています。

52、53 ページをご覧ください。小網代近郊緑地特別保全地区についての記載となります。この中では、指定の継続による保全を図り、整備、維持管理についても関係機関で協力し適切な対応をとることとしています。

54 ページから 59 ページは保全配慮地区に関する記載となります。保全配慮地区といたしましては、14 ページ、みどりの将来構造の中で、「みどりの保全拠点」、「海の保全・活用軸」に位置づけている江奈湾、油壺周辺、東京湾沿岸、相模湾沿岸の 4 地区としています。

60、61 ページは保全・交流地区となります。保全・交流地区といたしましては、14 ページみどりの将来構造の中で「みどりの交流拠点」に位置づける地区としています。これらの地区は、三浦市都市マスタープランで「海や緑の魅力を発信する交流ゾーン」として位置づけられた地区になります。都市マスの方角性に合わせる形で、保全と交流のための取り組みを記載しています。

62 ページから 67 ページは、緑化重点地区となります。こちらは 14 ページ「街の緑化拠点」として位置づける地区としています。駅の周辺や市街化区域を緑化重点地区としています。各地区において、みどりづくりを進めるための方針を記載しています。

68 ページから 70 ページは重点緑化道路に関する記載となります。三浦市景観計画で景観重要公共施設に位置づけられた道路、都市計画道路西海岸線自然林再生事業地、関東ふれあいの道、三浦市花とみどりモデル事業対象地を指定しています。

次に 72 ページからの「第 4 章 具体化への取組」となります。72 ページをご覧ください。「1 計画具体化のための役割分担」になります。ここでは、市民・来訪者、みどりの活動団体・NP0、事業者、行政 それぞれの役割について記載しています。

74 ページから 78 ページになります。「計画実現のための整備プログラム」として、第 2 章で記載した施策について、短期、中期、長期に取り組む施策、優先的に取り組む施策などを示しています。また、優先的に取り組む施策については、それぞれの目標指標を設けています。こちらの内容については、あらためて優先的に取り組むべき施策、その目標について検討している箇所もございますので、パブリックコメントまでに整理させていただこうと考えています。

79 ページをご覧ください。計画はPDCAサイクルで進捗管理を実施するとともに、評価・検証スケジュールを表のとおり実施していきます。3年に一度緑の審議会へ状況を報告させていただき、計画の実現性を確保していきたいと考えています。

81 ページからは資料編となっています。99 ページをご覧ください。第1回の審議会では速報値としてお示ししておりましたが、今回は令和6年度末の緑地の算定が完了したため確定値として記載しております。三浦市全体の緑地は維持、微増となっていますが、市街化区域では減少となっています。

106 ページをご覧ください。市民意向の状況として、アンケート調査の結果をまとめています。「ア 三浦市みどりに関するアンケート」については、11月16日に実施されるみうら市民まつりにおいて、もう一度アンケート調査を実施する予定です。資料3 三浦市みどりの基本計画概要版については、計画中の重要な部分を抜粋、視覚的にわかりやすい形を意識してまとめています。また、計画、概要版とも掲載している写真についても、パブリックコメントまでに再度精査する予定です。

説明は以上となります。ご審議のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

【中津会長】

前回、1回目のときにいろいろご意見いただいたものが反映されているかどうかということを確認していただくとよろしいですね。質問や意見をよろしくお願いします。

【布施委員】

1 ページですが、みどりの基本計画の目的と書いてあります。そのページの一番最後に、緑豊かな三浦市を市民みんなで創っていくことを目的に改定しますとあります。一方、概要版がありますが、目的として策定しますと書いてあります。計画の目的として改定しますというのは審議会の経過について説明する時の話であって、ここではこれを目的としますという文章でなければなりません。

次に、審議会の意見についての対応についてという資料があります。その3ページの上から2つ目、表の中には改行で言葉が切れないように工夫すべきだという話をしました。これに対してご指摘の通り修正しましたと書いてあります。しかし、言葉を伝える時に、例えばみどりの基本計画の目的のところで、「この恵まれた自然環境は古く」とありますが、「く」という言葉が次のページになっています。パッと見た時に、括弧に見えてしまう。さらにその行の最後の方で、「生活の基盤」とありますが、「基盤」という言葉も切れています。「基盤」という文字を一字先に送るだけで、言葉がずっと頭に入ります。例えば、「私はあなたを愛しています」という言葉を文字で書いた時に、1行目「わたしはあなたを あ」、2行目「いしています」としたら相手に伝わらなくなってしまう。

それを踏まえて、概要版の緑の基本理念のところを見てください。緑の基本理念の中で、「私たちの責務でもあります」と書かれています。ここでは「責」と「務」が分かれてしまっています。ここも字数を変えて調整すると見やすくなるはずですよ。その下の「未来へ引き継ぐことを、基本理念とします。」という文章も大事な言葉なのに、どうして「基」で分けなくてはならないのか、と私は思います。見る人が、理解できるような形にしなければならない。それが概要版であり、基本計画だと思います。

例えば、7 ページに写真があります。みどりの基本計画であれば、この位置には三浦市全体の緑が多く写った、三浦半島の三浦市の写真が必要なのではないでしょうか。写真の位置

と共に、同じ写真を何回か使っていたり、菊名の浜の写真が三浦海岸と書かれていたり、写真に撮影者の影が写ってしまっているものもあります。29 ページにある三浦海岸の写真も岩井口を写したものです。三浦海岸も上宮田地区と菊名地区で線引きがあり、この写真は三浦海岸とは言わない。31 ページと 55 ページの斜面樹林も同じような写真なのに、違う名前になっていて、こういう写真の使い方の良いのでしょうか。毘沙門と松輪江奈も海岸線は違うと思います。65 ページの住宅地の写真も緑化重点地区の写真としてふさわしいのか考えなくてはいけないと思います。70 ページの関東ふれあいの道ですが、油壺・入江の道とありますが、この写真は諸磯ですよ。また、46 ページ、エコツーリズムの推進、47 ページ、子どもたちとの活動の推進でも同じ写真を使っていますが、何か意図があるのでしょうか。53 ページ、小網代の森の写真もインフォメーションセンターに本当に良い写真がたくさんあるので活用したらどうでしょう。91 ページにチゴガニの写真も良いですが、アカテガニという言葉が出ていたので、アカテガニの写真を使って色合いを変えるなどした方が良いのではないのでしょうか。ここにクサフグの産卵についても書かれていますが、もっとしぶきをあげて卵を放出している写真など使った方が良いのではないのでしょうか。33 ページを見てください。保護樹木の十劫寺も字が間違っています。意図をもって自分たちはこれをやる、こうやって頑張っているということを示していかななくてはならないと思います。

28 ページを開いてください。緑のコラムというのは、なかなか良いアイデアだと思います。何ヶ所かコラムが出てきますが、文章の流れの中で、話に合わせて載せることが必要かと思います。28 ページの写真は、横須賀市博物館教育資料シリーズを参考に作成していると思います。三浦のみどりの基本計画を作成する時に、横須賀の資料も、もちろん活かさなくてはならないですが、三浦の資料を参考にして、三浦の計画を作るべきではないでしょうか。48 ページの同じくコラムで、ここには三浦の中学校の副読本の話が出てきます。こういう副読本から引用すれば、話も通ると思います。

三浦の地形について、87 ページを開いてください。その中の 2 項目目に、「諸磯や油壺のリアス海岸」と書かれています。リアス海岸は沈降して、土地が落ちたものです。先ほどの副読本で、三浦の自然の地層に「入り組んだ地形はリアス式海岸のようにも見えますが、それは違うのです。それどころか半島南部一帯は隆起によって作られた代表的な地形、海岸段丘（海食台）でできています。」と書かれています。諸磯や油壺はリアス海岸ではなく、海岸段丘であり、諸磯の自然遺跡で隆起したことが証明されている地層もあります。だから、沈降ではなく隆起しているので文章が間違っています。一方、94 ページでは海岸段丘であるという表現をしています。文章に統一性がなく、その辺りはやはりきちんとしなければならない。

それから 89 ページの気候について、三浦の気候が温暖だということは、市内の人も市外の人もみんな思っています。なぜ温暖なのかという要因をきちんと表現しなければなりません。気候というのはその時の気温、降水量、日照など様々な気象現象を統合したものだと思いますが、ここでは風の記載が欠けています。風が影響しているから三浦の農家は畑に寒冷紗をかけているし、松輪や毘沙門の畑が暖かくて作物の育ちが良いのは、海からの風が暖かい空気を運んできているからなんです。だから野比で雪が降っていても、三崎ではみぞれだったり、松輪や城ヶ島に行くと雨だったり、それぐらい違うんです。だからそういう風をきちんととらえておかないと、三浦の気候を説明できません。気温だけでなく、風が通り過ぎるから三浦は過ごしやすかったり、風が強すぎるから大変な思いをするということが出てこない。それからその下のグラフ、三浦市の気温及び降水量の推移。年間降水量の推移の比較

であれば話はわかりますが、日最大降水量、1時間最大降水量というものをグラフで表して何の推移が見れるのでしょうか。

【中津会長】

初めに、概要も本編も目的の書き方ですが、これに関して、事務局の方からコメントはありますか。

【事務局】

おっしゃられる通り改定することが目的ではありませんので、修正させていただきたいと思います。

【中津会長】

二つ目、改行位置に関してですが、これは私も以前、お願いしたことがあります。ページのデザイン上、ジャスティフィケーションという後ろを揃えるという形は、日本語のアプリケーションでよく設定しますが、海外のものでは後ろが揃わないものがありますので、もう一度、単語の途中で切れないように確認していただくということによろしいですか。

【事務局】

はい。

【中津会長】

地形のリアス式海岸に関して、他の学術的な資料をベースとしている副読本との整合性が合っていないということ、この確認に関していかがですか。

【事務局】

色々な文献があり、表現が違うところもあると思いますので、確認をして、表記を合わせていきたいと思います。

【中津会長】

これは非常に良いご指摘、重要なことだと思います。89ページの気候に関して、風に関する情報がないという意見と、日最大降水量を入れた意味は何だったのでしょうか。

【事務局】

降水量の説明ということで、補足として加えたというイメージですが、ご指摘の通り、日最大降水量、1時間最大降水量自体を入れる意味もはっきりしていませんので、風の件もあわせて整理させていただきたいと思います。

【中津会長】

風に関する記述が抜けているのは問題かと思いますが、風に関しての資料を入れていただく方が良いかと思います。

写真に関してもご指摘がありましたが、議事としては取っていただいていると思いますので、それをもって1つ1つ潰していただくということによろしいですか。

【事務局】

はい。

【中津会長】

布施委員につきましては、今このように事務局からの回答がありましたが、いかがでしょうか。

【布施委員】

三浦の人は三浦が好きだという思いを、きちんと表して欲しいと思います。

【中津会長】

他の委員の方からご意見いただければ、お願いします。

【西崎委員】

先ほど布施先生の方から河津桜のお話がありましたが、私たちが植え始めて25年ぐらい経ちます。これからは育てるというよりも、お世話をして長く咲いてもらいたという準備をしているところです。都市計画課から、景観重要樹木の指定に関して調査をしたいという話が来ています。この緑の審議会で、河津桜の写真がなくて寂しいということですが、ちょうどそういう話も来ていて、観光協会に良い写真もたくさんありますので、河津桜の写真を使っていただいてもいいのではないのでしょうか。

【大西委員】

先ほどインフォメーションセンターに三浦市の良い写真があり、活用してはどうかということを布施先生からアドバイスもいただきましたが、是非使っていただければと思います。

【堀越部長】

三浦市の景観条例に基づいた、景観重要建造物と景観重要樹木の指定に向けて、中津先生にもご助力いただいておりますが、候補に挙がっている方々にアンケートを送らせていただき、お考えを伺っているところです。その中で取り組みを始めて25年経過され、地域に根差

した河津桜も三浦市の景観重要樹木に指定してはどうかという話があり、景観審議会の委員の皆様からも高い評価を得ています。現在、まちなみ協議会の方に育てていただいています。ご賛同をいただければ、景観重要樹木として多くの方に三浦市らしい景観があるということを知っていただく機会として、前向きにご検討いただければ助かります。

布施委員からもご指摘いただき、大西委員からもご協力をいただけるとお話をいただいていますので、景観重要樹木にふさわしい写真を選ばせていただいて、差し替えさせていただきます。

【中津会長】

他にはいかがでしょうか。

【長沼委員】

75 ページですが、プログラムに対する目標指標が書かれています。75 ページの 1-22 等、目標指標を見た時にすぐにイメージの湧くところが多いですが、1-4、1-8、1-12 等は、ということをしたら 1 回とカウントするのかイメージが湧かないので教えていただければと思います。

【中津会長】

事務局の方からお願いします。

【事務局】

まず 1-4 になります。三浦半島地区でブルーカーボンに関して共通の取組をしております。4 市 1 町が共同で、市民や企業を含めてイベント等が開催されていますので、そのような取組を 1 つとしてカウントすることを考えています。1-8 の小網代の森の保全・活用については、我々も含め神奈川県、かながわトラストみどり財団、NPO 等による小網代の森の中のイベントを 1 カウントとして考えています。市民協働による谷戸・里山林の維持管理については、関係機関と連携しながら維持管理とありますが、こちらについてはあらためて内容を精査させていただきたいと考えています。

【長沼委員】

ある程度イメージがつく内容の方が良いかと思いお話をさせていただきましたが、書けるものがあれば入れていただくということではよろしいかと思います。

【中津会長】

ここに数字を書くことは必要でしょうか。1 回やれば良いという話ではないですね。

小網代の森は、私もイベントなどで時々行くようになりましたけど、頻繁に色々なことをやっていますよね。1回以上という指標を、数字としてあげないといけないということでしょうか。

【事務局】

目標を掲げてそれを達成したか、達成していないかという、何かしら数量的な目標値というのは必要かと考えています。

【堀越部長】

行政でも最近、何かを設定する時には数値目標をよく設定しますが、現在の設定では、1回やれば達成ということになってしまうので、表現については事務局でも数値目標がいいのか、具体的な活動がいいのかあらためて検討させていただきたいと思います。

【中津会長】

1回しかやらないのか、という解釈に繋がる可能性もありますし、10回やったら1000%達成というのも変な話ですから、この辺りは評価の仕方も含めて検討していただいた方がいいかもしれないですね。

他にご意見はいかがでしょうか。

【小林委員】

106 ページですが、アンケートの関係です。①の調査内容、アンケート回収数ですが、400 を目標にしているということで、ここでは315 通となっています。市民まつりであらためてアンケートを取るということですが、現在までに315 からは増えていないのでしょうか。

【事務局】

今回の審議会資料に間に合いませんでしたが、先月、市内の小学校にアンケート調査を配布させていただき、59 件回収していますので、現在の回収数は374 となっています。今後、市民まつりであらためてアンケートを実施する予定です。

【小林委員】

市民まつりの際に、残りの85 を回収するのが厳しいかと思って聞きました。子供たちのアンケートでプラス59、400 まで残り26 ということで安心しました。

【中津会長】

アンケートに関しては、基本計画完成後も日常的にアンケートをとるようなツール、チャンネルはあった方が良いでしょう。特に最近では、枯木に関する怪我の被害等、色々なことが起き

ていますから、市民の方々から通報いただくようなチャンネルはあった方が良いと思いますので、そういうシステムを継続的に検討していただければと思います。

ありがとうございました。他にございますか。

【布施委員】

109 ページにみどりの施策の実施状況がありますよね。実施できたものは二重丸、実施したものの今後は見直しが必要なのが丸、実施できなかったものが三角となっています。例えば、15 番に「多自然川づくりの推進」とあります。内容はよくわかりませんが、三角になるのは何となく想像が付きまします。ただ、21 番「遺跡の保存・活用」も三角になっていますが、何も仕事をしていないわけではないので、丸にするべきではないでしょうか。

【堀越部長】

布施委員からご意見をいただきましたが、とくに三戸の開発に伴って、文化スポーツ課も話し合いを行っています。現行の計画では、赤坂遺跡の公園化について触れていたものから、そこまでは至っていないのでできなかったという判断を事務局でいたしました。取組自体は確に行っています。

【布施委員】

その次のページを見ても、何か所か三角になっています。これらについて、市役所の中で作業はしていると思います。自分に厳しいことも大事だと思いますが、何もやっていないわけではないと思うので、見直した方がいいのではないのでしょうか。市役所も一生懸命やっているのはわかっているので、やったことについては外に出したもらった方がいいです。例えば、初声市民センターができた時には、初声地区の人達が、みんなで木を持ってきて周りに植えたということもありました。今回の新庁舎でもみどりに関して考えたと思いますし、ベイシアの駐車場も法面が芝生になっていますよね。あれも緑のことを考えてやったことだと思います。コンクリートでもよかったわけで、そうではなくて芝生にしたというのは緑という意識があったはずですよ。

112 ページを見てください。重点地区で新市庁舎ができる場所でもあるので、まだ具体化はしていないけれど、検討はしているという話であれば、ここが三角にはならないと思う。そういう取組をきちんと評価して、反映してください。

【中津会長】

今のご発言は、非常に的を射ていると思います。結果的にできなかった項目でも、アクションを起こしたけれどできなかったものとアクションを起こせなかったものを区別していただいて、アクションを起こせなかったものは、むしろバツに、アクションを起こしたけど、まだ具現化ができていないものは三角でいいと思います。三角も黒い三角ではなくて、中抜きで三角にしてください。今回の素案では、評価が3段階になっていますが、4段階にさせていただいて、三角は頑張ったけれど、結果的にまだ具現化できていませんという形にしてくだ

さい。今後、市民を巻き込んで、市民の方々がもっと応援しないとだめだなと思いたくなるような、応援団を増やすようなイメージでやっていただいたら良いと思います。

【長沼委員】

今、話に出た評価の関係ですが、おそらく事務局の方で、項目ごとに実施状況を確認、評価され、それが次の計画にまた反映されるというものだと思います。79 ページの下に評価・検証スケジュールとありますが、今と同じような話で、その状況把握は継続して行っていく。実施状況の中間評価があつて、最終的な評価も行つて、その後、計画の見直しという手順に入るとと思いますが、その最終的な評価がどこかに隠れてしまっているのではないのでしょうか。

【中津会長】

79 ページは年次毎の表になっていますが、この評価、チェックについてはいかがでしょうか。

【事務局】

状況の把握については、毎年、行うことになっています。把握と同時に評価していくということを事務局では考えています。

【中津会長】

79 ページの表は総合的な評価ということで、それぞれの項目は全て違うタイムスパンで動いており小さな PDCA を回さないといけないものと、総合的にできるものとは違う作業になるので、109 ページから 112 ページまでのサイクルと、79 ページのスケジュールが合致しない部分があるのではないかと思います。計画の見直しというところで、PDCA サイクルにはなっていると思いますので、その点を上手く表現できればいいとは思いますが、簡単にはできないかなと。その点は長沼委員、ご理解いただけますか。

【長沼委員】

個別の項目は、どこまで細かく整理して出すかという話になるかと思いますが、そこは事務局の考えで良いと思います。おそらく、改定前の 2 年か 3 年前かわかりませんが、結果について評価して、次の計画を作るというようなイメージがあるかと思います。その時点での評価は、記載の中間評価に対して最終評価に当たるのではと思いました。状況把握や緑の審議会での報告という部分に含まれているのであれば別に構いませんので、最終評価を記載する必要性について検討いただければと思います。

【中津会長】

計画の見直しで星印がついているところが中間評価ではなくて、最終評価という形ですね。だから中間評価に含めるのではなくて、もう1行増やして、総合評価や最終評価等として、計画の見直しがリンクしてくる形になれば良いということですかね。

【長沼委員】

そうですね。そこが実態に合うように書けるのであれば、変えたほうがいいかなと思います。

【中津会長】

中間年次と書いているのは、最終的な令和27年度を目標にしているからこういう形にしているわけですね。中間は真ん中というイメージがありますけど、令和27年度に向けて、1回、2回、3回と途中で評価するというにあってるので、その辺りの表現については、少し検討していただければと思います。

私は細かい色々なページのデザインのことをチェックしていて、特にここで言うべきではないので、後で、この辺りを少し変えた方がいいのではないかなという話ができればいいと思っていましたが、1点だけ気になった部分があります。62ページの(2)地区別の方針で緑化重点地区というタイトルになっていますよね。これに絡んで14ページの緑の緑化拠点というものがあり、62ページの緑化重点地区というものが、14ページの緑化拠点と同じ場所になっています。このあたりは、緑化拠点と書いてあるところに、緑化重点地区としての説明などを入れる必要はないのかと思っていたのですが、これに関していかがですか。別のものとして、ページだけ項目立てするという事で問題ないでしょうか。事務局ではいかがですか。

【事務局】

確認させていただきたいと思いますが、50ページに3つの項目があります。「緑の緑化拠点」、「重点的に緑化推進に取り組む地区」、「緑化重点地区」という3種類を拠点の呼称として使っているんで、このあたりを整理するか、もしくは解説を入れさせていただくか、あらためて確認させていただきたいと思います。

【中津会長】

よろしくお願いします。他には皆さんいかがでしょうか。

議題の1についての質疑は以上とさせていただきます。資料6として三浦市緑の審議会意見シートというものがございますので、思いついたことがあれば、それに書いて11月17日までに事務局へ提出していただければと思います。

それでは議題の2その他ということで事務局ご説明をお願いします。

【事務局】

それでは議題2 三浦市みどりの基本計画改定スケジュールに沿ってご説明いたします。
本日、令和7年度第2回の審議会で頂戴いたしましたご意見を反映させて、12月から1月にかけてパブリックコメントを実施します。令和8年1月末に、令和7年度第3回、通算で第5回目の審議会を実施させていただきます。その際には、パブリックコメントの結果報告、答申をさせていただきたいと考えております。次回の審議会に関しましても、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【中津会長】

それでは議事はすべて終了したと思いますが、他に事務局からあればお願いします。

【事務局】

会長よりお話がありましたが、令和8年の1月末を目処に次回の審議会を開催させていただこうと思っております。日程の調整や場所については、改めて事務局よりご連絡をさせていただきますので、皆様お忙しいところ恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【中津会長】

ありがとうございました。次回の日程は1月末、会場は未定ということで、皆さんよろしくお願いいたします。他にければ、本日予定していた議事はすべて終了となりますので、審議会を終了したいと思います。それでは一旦事務局の方にはお願いします。

【事務局】

本日はお忙しいところお集まりいただき、また長時間にわたり、ご審議をいただきありがとうございました。令和7年度第2回緑の審議会については以上で閉会とさせていただきます。